

年 月 日

消化器内科の外来診療あるいは入院診療を受けられた患者さんへ

「 Helicobacter pylori 未感染早期胃癌の内視鏡学的・臨床病理学的特徴の検討 」への協力をお願い

消化器内科では、下記のような診療を受けた患者さんの試料・情報を用いた研究を行います。皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

研究の対象：2005年1月1日～2023年9月30日に当科において、内視鏡的粘膜下層剥離術（ESD）、外科的切除術を受けられた早期胃癌の方

研究期間：研究機関の長の研究実施許可日～2026年 9月 30 日

研究目的・利用方法：Helicobacter pylori(ピロリ菌)は発癌因子とされていますが、近年の公衆衛生の向上に伴い罹患率は低下傾向にあります。それに伴いピロリ菌未感染胃癌（HPINGC: Helicobacter pylori infection-negative gastric cancer）の報告は増加傾向にあります。しかしHPINGCの内視鏡像は多彩であり、現時点で系統立った報告はありません。本研究では施設内でHPINGCと診断された症例を内視鏡的・臨床病理学的に分類することで、今後増加すると思われるHP未感染症例診断の一助となることを目的とします。

研究に用いる試料・情報の項目：

以下の項目を診療録より取得します。

年齢、性別、肉眼型、深達度、腫瘍径、組織型、リンパ管侵襲、静脈侵襲、潰瘍（UL）の有無、水平断端、垂直断端、免疫染色（MUC5AC, MUC6, MUC2, CD10, p-53, MIB-1, Pepsinogen, H+ /K+ ATPase, chromograninA, E-cadherin）、リンパ節転移の有無（手術検体）、CT画像による転移再発の有無、無再発生存期間、生存状況

研究に用いる情報の利用を開始する予定日：2024年2月1日

研究への参加辞退をご希望の場合

本研究に関して新たに患者さんに行っていただくことはありませんし、費用もかかりません。本研究の内容や研究結果等について質問等がありましたら以下の連絡先まで問い合わせください。また、試料・情報が当該研究に用いられることについて了承いただけない場合には研究対象としませんので、以下の連絡先まで申し出ください。なお、本研究は、岐阜大学大学院医学系研究科医学研究等倫理審査委員会において審査、承認され、研究科長・病院長の許可を得ております。また、この研究への参加をお断りになった場合にも、将来にわたって当科における診療・治療において不利益を被ることはありませんので、ご安心ください。

研究から生じる知的財産権の帰属と利益相反

研究者及び岐阜大学に帰属し、研究対象者には生じません。研究の結果の解釈および結果の解釈に影響を及ぼすような「起こりえる利益相反」は存在しません。

研究責任者

岐阜大学医学部附属病院 消化器内科

氏名：高田 淳

連絡先

岐阜大学医学部附属病院 消化器内科

電話番号：058-230-6308

氏名：宇野 由佳里

【苦情窓口】

岐阜大学医学系研究科・医学部 研究支援係

〒501-1194

岐阜県岐阜市柳戸 1 番 1

Tel：058-230-6059

E-mail：rinri@t.gifu-u.ac.jp